

救急時や夜間に患者の医療情報等の把握が難しい...

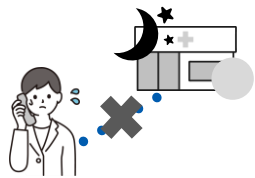
特に患者の情報が不足しがちな救急時などにおいて、マイナ保険証利用時に提供される診療情報等を十分に活用できていない

救急時でも、マイナ保険証を通じて確認できる情報を活用

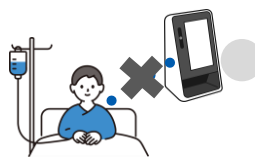
環境見直し前



新規の救急患者など、患者への問診が困難な場合などは過去の病歴・薬歴等の把握に時間が掛かる



夜間だとかかりつけ病院等が対応できないことも多く、情報の把握が難しい



本人しかおらず、顔認証付きカードリーダーまで移動できない場合にマイナ保険証を通じた資格情報の把握が難しい

環境見直し後



救急患者を含め新規の患者に対して、マイナ保険証の診療情報・薬剤情報等を確認する運用としたことで、患者への確認によらず**診療歴・服用内容の把握・かかりつけの医療機関・薬局の迅速な把握**が可能となった



特に**夜間**では地域連携室も、かかりつけ病院も対応できないことが多く、直接確認できないため、薬剤情報が分かる点は重要している



スマホ（マイナ資格確認アプリ）を事務員が患者の元へ持って行き資格情報を取得

マイナ保険証を預かって対応することがないので、返却ミスなどの懸念がなくなることもうれしいポイントです！

— 成果 —



診療歴がある方は、何か背景に隠れている可能性があるのではないかを気に掛けるきっかけとなり、**診断する上での情報量が増えることでより検知が早くなりました。**

救急患者は外傷を伴っているケースが多いので、抗凝固系や抗血小板薬等の有無を確認することで**より適切な判断が可能になりました。**

— 施設情報 —



独立行政法人地域医療機能推進機構
松浦中央病院

長崎県松浦市